

しまねのコト、原子力のコト

# アトムの広場

しまね原子力広報 SHIMANE ATOMIC INFORMATION



Photo: しみのある美しい和紙は「雲紙」と呼ばれる

No.  
131  
2021.9

シリーズ | 見つけよう、しまねのコト。

和紙を千年先へつなぐ 出雲民藝紙

特集 原子力災害時の 広域避難

島根原子力発電所周辺 | 環境放射線等調査結果

環境への影響は認められませんでした。

【コラム】 避難ルートの渋滞対策

30km Area

SHIMANE

見つけよう、しまねのコト。

出雲民藝紙

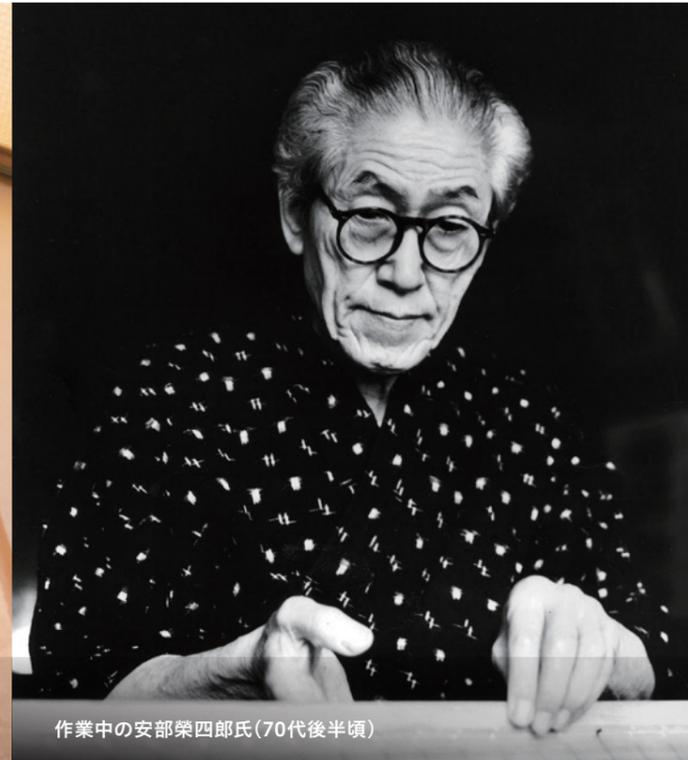
# 和紙を千年先へつなぐ 出雲民藝紙

シリーズ「見つけよう、しまねのコト。」では、身近にあるけれど普段意識しづらい身の回りの場所・モノ・行事・風習などを取り上げ、その歴史や文化をご紹介します。



記念館に展示されている榮四郎作の和紙

雁皮紙



作業中の安部榮四郎氏(70代後半頃)



紺色の三椏紙を漉く安部紀正さん

出雲民藝紙を使った照明

## 民藝運動に学び、和紙の美しさを世に広めた安部榮四郎

手漉き和紙ならではの風合いと美しい色調——松江市八雲町で作られている出雲民藝紙は、明治35年この地に生まれた安部榮四郎に始まります。生家が紙漉き屋だった榮四郎は9歳から家業を手伝い、成人すると本格的に紙を漉くようになりました。洋紙が盛んに作られ始め、進むべき方向に悩んでいた昭和6年、松江に来た民藝運動の創始者・柳宗悦に雁皮から作った和紙を見せたところ、「これだ、これこそ日本の紙だ!」と感激されて大きな自信を得ます。この出会いを機に民藝運動に加わった榮四郎は、誠実でごまかしのない仕事を根本とする民藝の精神に学び、手漉き

和紙一筋に打ち込んでいきました。

榮四郎が好んだ原料は雁皮でした。とくに昭和35年から3年間、正倉院宝物紙の調査に参加した際、およそ1200年前の雁皮紙がいま作ったものと同じような色つやを持っていることに深い感動を覚えました。「私の作った紙が、千年も二千年も先まで残っていたら、こんな幸せなことはない」と考え、正倉院の古文書が目標となったのです。原料の特性をそのまま漉き上げていくのが榮四郎の紙の特徴ですが、ベンガラなどの顔料を用いて色付けした紙も昭和初期から創作し、国内外の展覧会を通じて手漉き和紙の美しさを広めました。

## 心と技を受け継ぎ、高いクオリティをこれからも

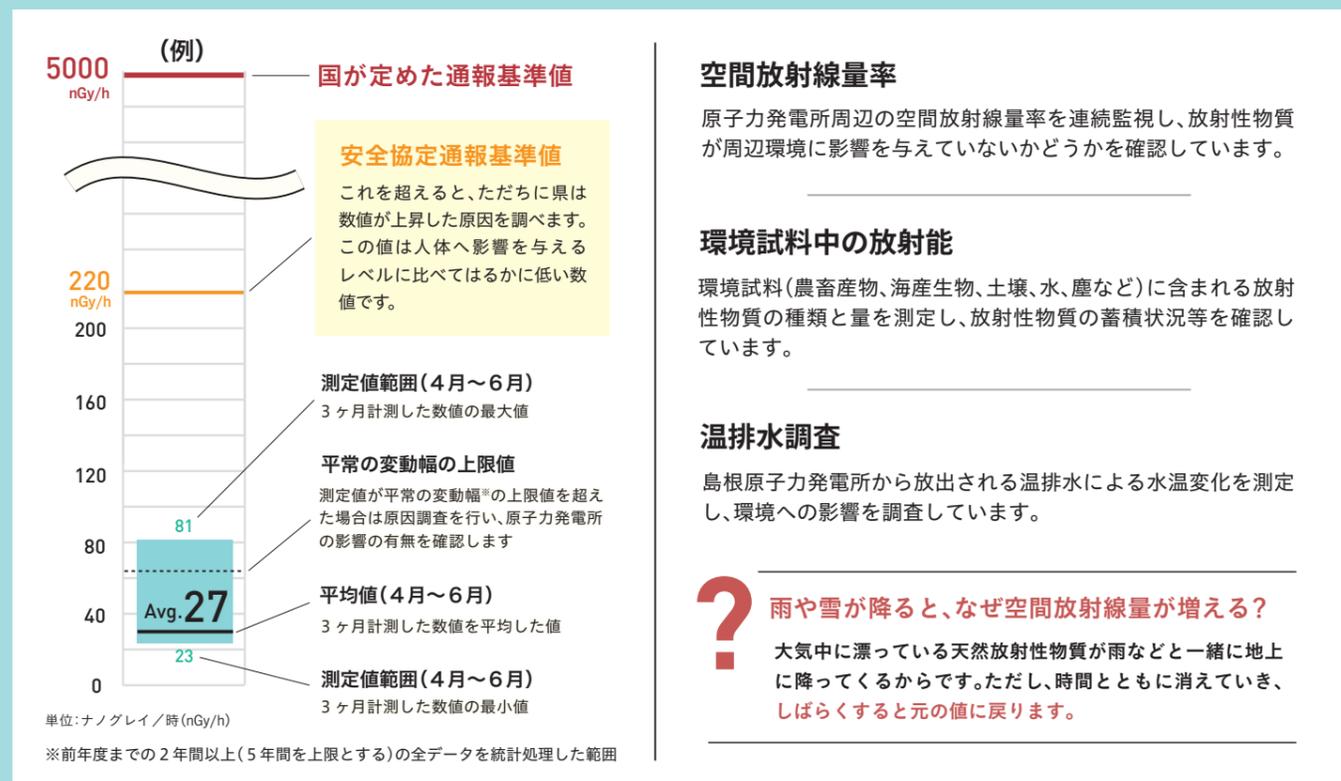
昭和43年、雁皮紙を漉く独自の技術を高く評価され、安部榮四郎は国の重要無形文化財、いわゆる「人間国宝」に認定されました。82歳で没する前年の昭和58年、和紙のすばらしさを伝えていこうと、自らが先頭に立って「安部榮四郎記念館」を開館。榮四郎作の紙や、ゆかりの民藝作家たちの作品が展示されています。「いいものは残る、千年先の自分の紙が見てみたいとよく言っていましたね」と、学芸員の安部己図枝さんは話します。

現在、安部榮四郎の心と技は孫の安部信一郎さん・のりまさ紀正さん兄弟に受け継がれ、「出雲民藝紙工房」で手漉き和紙が作られています。使う原料は、三椏、楮、雁

皮の3種類。三椏の和紙が9割を占め、1割が楮。榮四郎が好み、「紙の王様」と称される雁皮紙は、木の成長が遅いことなどから、ごくわずかしかな作られていません。原料を煮て水にさらし、細かくして、漉いて、乾燥させる。昔から変わらない工程の中で一番難しいのは、やはり「漉き」だといいます。「インテリアや人形制作、ちぎり絵の材料など、和紙の使いみちは広がっています。若いクリエイターがよく紙を見に来ますよ」と話す安部紀正さん。用途を広げつつ、伝えられた技術とクオリティを大切に守って、和紙を千年先へつなげるべく日々励んでいます。

島根県では、地域住民の皆様の安全確保及び環境の保全を図るため、環境放射線等の調査を行っています。

今期の調査結果を検討・評価したところ、  
島根原子力発電所による影響は認められませんでした。



**空間放射線量率**

原子力発電所周辺の空間放射線量率を連続監視し、放射性物質が周辺環境に影響を与えていないかどうかを確認しています。

**環境試料中の放射能**

環境試料(農畜産物、海産物、土壌、水、塵など)に含まれる放射性物質の種類と量を測定し、放射性物質の蓄積状況等を確認しています。

**温排水調査**

島根原子力発電所から放出される温排水による水温変化を測定し、環境への影響を調査しています。

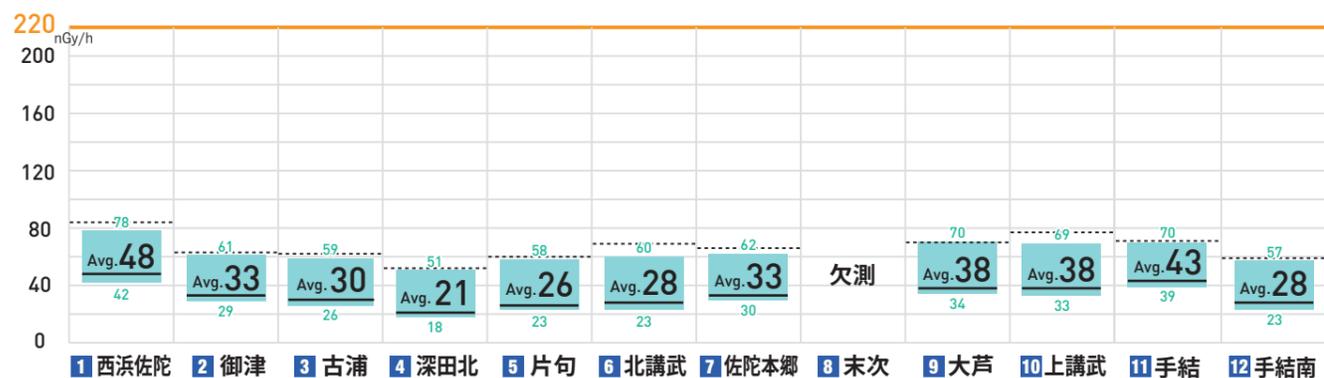
**? 雨や雪が降ると、なぜ空間放射線量が増える?**  
大気中に漂っている天然放射性物質が雨などと一緒に地上に降ってくるからです。ただし、時間とともに消えていき、しばらくすると元の値に戻ります。



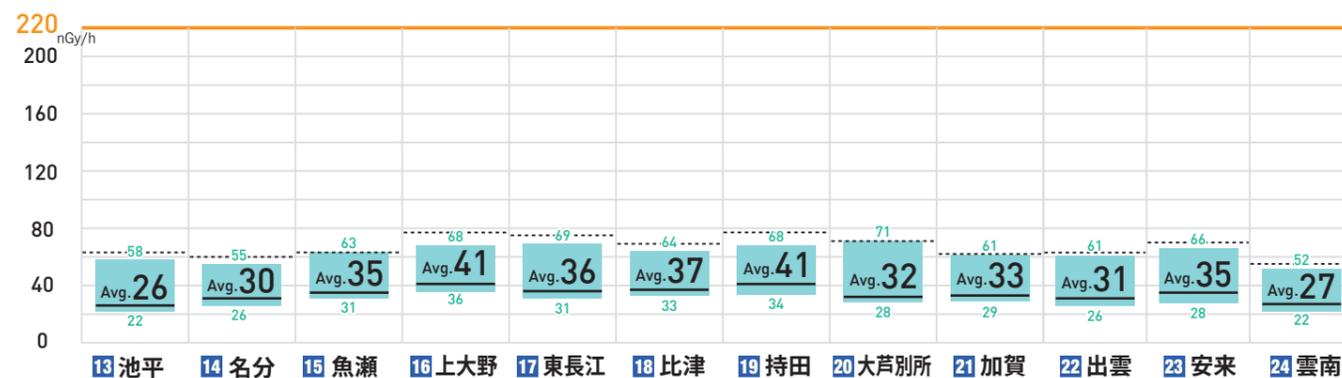
空間放射線量率

2021年4月～6月

平常の変動幅内の値であり、島根原子力発電所による影響は認められませんでした。



○3ヶ月間の測定値における最高値と最低値を表記しています。○平均値(4～6月)は各月の平均値を平均したものです。○測量地点の番号と名称は上記MAPと連動しています。  
※8末次は、松江役所の建て替え工事に伴い、しばらくの間、欠測になります。なお、工事期間中は簡易型モニタリングポストで測定を行っています。(参考値: Avg.48)



環境試料中の放射能

2021年4月～6月

平常の変動幅内または一般の環境で認められる程度の値であり、島根原子力発電所による影響は認められませんでした。

●分析結果

測定試料	単位	測定結果(セシウム137)	平常の変動幅	測定試料	単位	測定結果(セシウム137)	平常の変動幅
浮遊塵	μBq/m <sup>3</sup>	検出されず	検出されず	陸	Bq/kg(乾物)	検出されず～1.4	検出されず～3.5
池水	mBq/ℓ	検出されず	検出されず	海水	kBq/m <sup>2</sup>	検出されず～0.04	検出されず～0.12
水道原水	mBq/ℓ	検出されず	検出されず	海底土	mBq/ℓ	1.3～2.0	0.90～2.4
松葉	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず～0.03	かさこ	Bq/kg(生)	0.09	0.06～0.12
大根	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず	さざえ	Bq/kg(生)	検出されず～0.04	検出されず～0.04
キャベツ	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず	あらめ	Bq/kg(生)	検出されず～0.06	検出されず～0.10
茶	Bq/kg(生)	0.03～0.04	検出されず～0.04	わかめ	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず
原乳	mBq/ℓ	検出されず	検出されず	ほんだわら類	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず～0.07

※セシウム137以外の対象核種( <sup>54</sup>Mn, <sup>59</sup>Fe, <sup>58</sup>Co, <sup>60</sup>Co)については検出されませんでした。  
※「平常の変動幅」は平成21年～22年度及び平成25～令和2年度の10年間の最小値から最大値までの範囲です。(一部試料を除く)

温排水調査結果

2021年4月～6月

今期の調査結果を検討・評価したところ、  
島根原子力発電所による影響は認められませんでした。

測定試料	単位	測定結果(ヨウ素131)	平常の変動幅	測定試料	単位	測定結果(トリチウム)	平常の変動幅
松葉	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず	大気水	Bq/ℓ	0.43～0.81	検出されず～0.68
茶	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず	海水	mBq/m <sup>3</sup>	3.4～10.0	検出されず～9.6
原乳	mBq/ℓ	検出されず	検出されず	海水	Bq/ℓ	検出されず	検出されず
わかめ	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず	陸水	Bq/ℓ	検出されず～0.43	検出されず～0.52
ほんだわら類	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず				

※「平常の変動幅」は前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲です。(一部試料を除く)

期間中、1～3号機とも原子炉の稼動に伴う温排水の放出はありませんが、発電所周辺の海域における水温分布等の調査は引き続き実施しています。

# 原子力災害時の 広域避難

広域避難とは、県や市町村の境を越えるなどして、離れた安全な地域に避難をするものです。

万が一、原子力災害が発生した場合には、広域避難を実施することとしています。

## 広域避難先

原子力発電所から概ね5km圏内および、5～30km圏内の方の避難先は、島根県内、岡山県および広島県に確保しています。

詳細な避難先は、「原子力災害に備えた島根県広域避難計画」や「島根県避難ルートマップ」でご確認いただけます。



原子力災害に備えた  
島根県広域避難計画



島根県避難ルートマップ

# 避難ルート

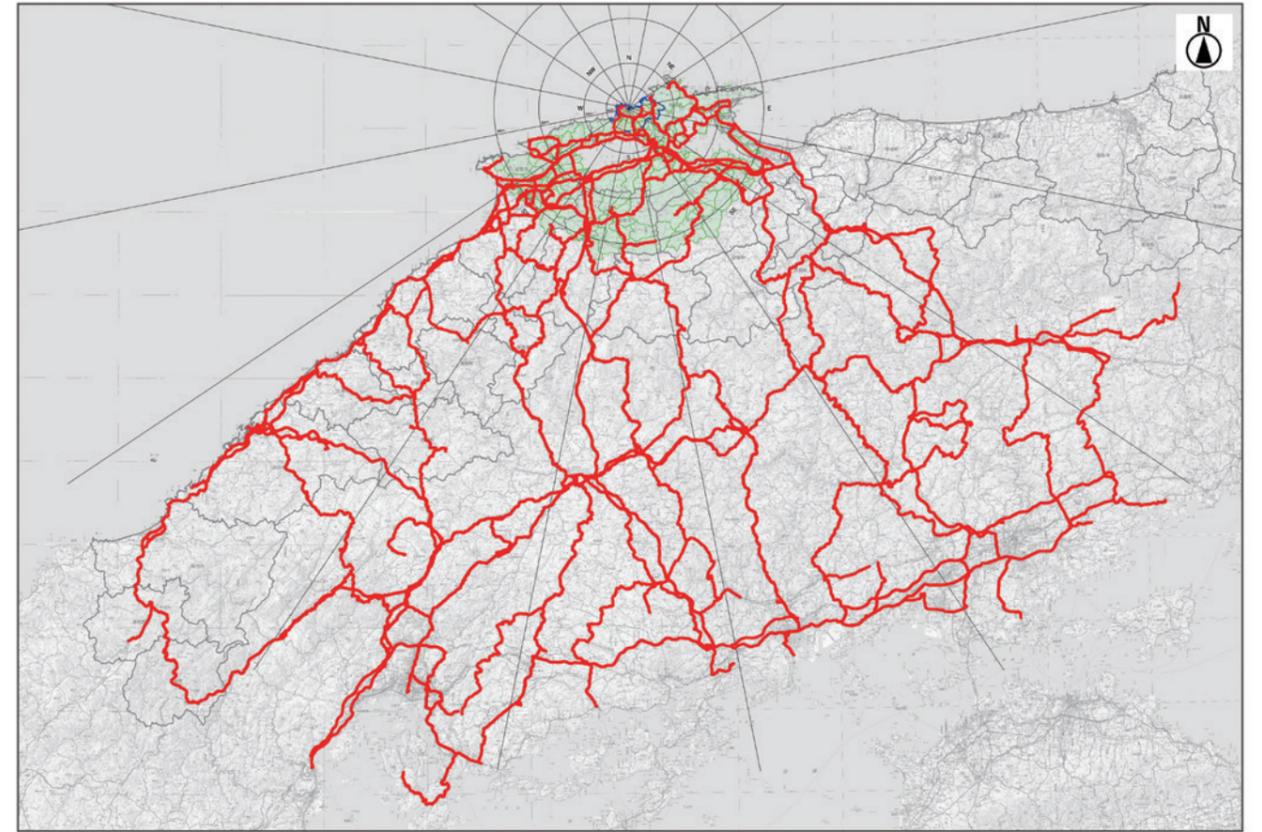
## 避難ルートの選定

地震等によりあらかじめ定めた避難ルートが使用できない場合に備え、道路規格が高く、被害を受けにくい幹線道路を中心とした複数の避難ルートを選定しました。

## 避難ルート選定のポイント

- ①信号機の多いエリアはできるだけ通行しないルートとする。
- ②大橋川で分断される松江市内での渋滞を回避するため、中心部の松江大橋、新大橋、宍道湖大橋、くびき大橋を極力通らないルートとする。
- ③高速道路等は、松江市外へ向かう片側路線を避難ルートとして使用する。  
(松江市内に向かうルートは緊急交通路として使用する)

避難ルートの全体像



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図20万を複製したものである。(承認番号 平30情復、第220号)」

## 円滑に避難を行うための対策

### 対策 1

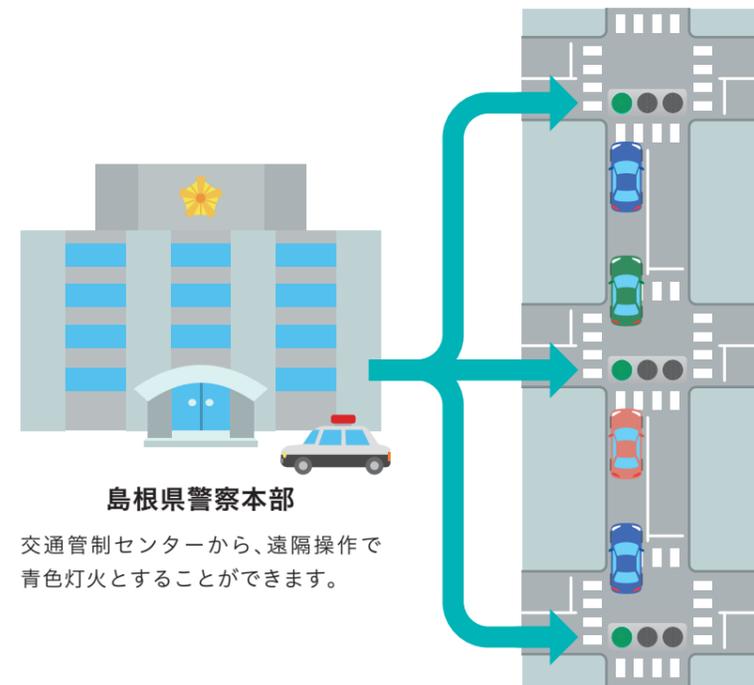
島根県警交通管制センターに、「原子力災害時の避難・誘導システム」を導入しています。

このシステムでは、避難ルート上の信号を一斉に「青色灯火」とすることができ、避難する車両は円滑に進むことができます。

### 対策 2

避難ルート等を地図で確認できるウェブサイト「島根県避難ルートマップ」を作成し、運用を開始しました。

「島根県避難ルートマップ」では地区ごとの一時集結所、避難経路、避難退域時検査会場のほか、避難指示や道路の渋滞情報、ガソリンスタンドなどを確認することができます。



島根県警察本部

交通管制センターから、遠隔操作で青色灯火とすることができます。

対策1 「原子力災害時の避難・誘導システム」イメージ



対策2 「島根県避難ルートマップ」イメージ

## 第5回 ● 避難ルートの渋滞対策

### Q. 松江市の橋北から橋南へ避難するとき、渋滞は発生しないの？

松江市中心部での渋滞対策として、次のような対策をしています



避難ルートの選定にあたり、松江市内の大橋川にかかる「くにびき大橋」、「新大橋」、「穴道湖大橋」を通るのは3地区（城東地区、城北地区、城西地区）の方のみに限定し、その他の地区の方は、基本的にはこれらの橋を通らないようなルートを選定しています。

例えば、図の北東側の地区（川津地区、持田地区など）の方は、「松江だんだん道路」を利用することとしています。  
※地震等により、あらかじめ想定していた避難ルートが使用できない場合は、新たにルートを設定します。

## [ お知らせ ]

令和3年度 第3回 **参加無料** **昼食付き**

### 原子力関連施設見学会

参加者募集

県内の原子力関連施設（島根県原子力防災センター、島根県原子力環境センター、島根原子力発電所）の見学会を開催します。

●開催日時 令和3年12月17日(金) 9:00 ~ 15:50

●応募締切 令和3年12月1日(水) 必着

●募集人員 15名(申込多数の場合は抽選)

●応募方法 連絡先等の必要事項を記載の上、ハガキ、FAXまたは電話でご応募いただくか、「アトムの広場」Webサイトの専用応募フォームよりご応募ください。

●応募先 島根県原子力安全対策課 見学会担当  
ページ下の連絡先までご応募ください。

#### ◎必要事項

参加を希望されるすべての方の郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、生年月日、本人確認書類の種類(以下参照)

【本人確認書類】次の①~④の中から1種類お選びください。

①運転免許証 ②パスポート ③写真付きマイナンバーカード

④その他の公的書類(A~Cのうち、2つが必要です。例:住民票+健康保険証)

A:住民票(6ヵ月以内) B:健康保険証 C:年金手帳

※上記以外の本人確認書類についてはお問い合わせください。

※応募内容の個人情報は、見学会の目的外に使用することはありません。

しまねのコト、原子力のコト

## アトムの広場

しまね原子力広報 SHIMANE ATOMIC INFORMATION

「アトムの広場」に関するご意見・ご感想等がありましたら、島根県原子力安全対策課までお寄せください。

NEW!

アトムの広場  
Webサイト



<https://atomnohiroba.jp>

編集・発行 島根県 防災部 原子力安全対策課

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地  
TEL (0852)22-6059(代表) FAX (0852)22-5600  
TEL (0852)22-6075(見学会担当)

URL <https://www.pref.shimane.lg.jp/genan/>  
E-mail [gen-an@pref.shimane.lg.jp](mailto:gen-an@pref.shimane.lg.jp)

2021年9月発行 ※令和3年度広報・調査等交付金等事業により作成しました。松江、出雲、安来、雲南の4市では、各世帯に配布しています。

